

西伊豆健育会病院

永田 弥生(栄養科 / 調理師)

功 績 栄養科所属でありながら定期的に保育室ヘルプを率先して実施、毎週土曜日のヘルプを行い、栄養科視点で子どもが食べやすい様に食事改善も行いOURTEAMとして運営に寄与した功績。

推薦者氏名 栄養科リーダー 倉田健司

推薦理由 永田弥生は、慢性的に人員が不足している保育室へのヘルプ依頼に対し、率先して名乗りを上げ、12月より毎週土曜日ヘルプ業務に従事しています。

更に、ただヘルプ業務に従事しているだけでなく、保育中の食事について、子供が食べやすく、食事が進むような改善案を栄養科に持ち帰り、業務の改善に努めています。これは他職種連携の一環として、Our Teamの実現に寄与するものと考え推薦します。

内 容

永田職員は調理師として栄養科に従事しておりました。栄養科では長期的に早朝の早番勤務を担える職員に限られる中、永田職員は率先して早番業務に入るなど、科内において欠かせない存在として貢献してきました。

一方、院内保育室では12月より新たな児童が増加し、勤務体制の強化が急務となりましたが、保育職員の確保が困難な状況が続いておりました。そこで院内公募を実施したところ、永田職員が自ら名乗りを上げました。

栄養科においても人員に余裕がある状況ではありませんでしたが、本年度はクックチルの導入・外国人雇用の開始により業務体制の再構築を実現し、休日勤務の廃止に至りました。結果、調整を行い、保育業務への支援を整えることができました。

永田職員は介護資格を有しており、分野は異なるものの、見守りが必要な対象者へ安全に対応する確かなスキルを備えています。現在は毎週土曜日に1日保育業務に従事し、保育室および保護者を支える重要な役割を果たしています。特筆すべきは、単なる人員補充に留まらず、栄養科の視点を活かして保育業務に取り組んでいる点です。子どもたちの食事状況を丁寧に観察し、食事が進まない児童への改善提案を栄養科へ持ち帰り実践するなど、部門横断的な連携を生み出しています。また、保育室イベント「わくわく農園収穫祭」にも積極的に参加し、子どもたちと触れ合いながら“楽しい食事”の環境づくりにも貢献しています。

現状では永田職員は保育室運営において欠かすことのできない存在となっており、保育室の円滑な運営に大きく寄与しています。以上の理由により、永田職員を理事長賞に推薦いたします。